

三菱重工は

敵基地攻撃ミサイルの製造と
次期戦闘機共同開発から

撤退を!

国内最大手の軍需企業である三菱重工は昨年、防衛省と「12式地对艦誘導弾能力向上型」など4種類の長距離ミサイルの開発・量産を契約。既に一部が愛知県の小牧北工場で量産に入っています。これらは射程1000kmを超えて周辺国に届く敵基地攻撃ミサイルであり、「専守防衛」を踏み破る憲法違反の武器です。東アジアの軍拡競争を加速させ、戦争を呼び込みかねません。「ミサイル特需」により、同社の軍事部門の受注高は激増しています。

同社はまた、次期戦闘機の日英伊共同開発における日本側の主導メーカーでもあります。かつて英伊などが共同開発した戦闘機ユーロファイターがサウジアラビアに輸出され、イエメン内戦への軍事介入で無差別空爆に使用されたように、次期戦闘機も第三国輸出によって戦争犯罪をもたらす恐れがあります。メイドインジャパンの武器が他国の人々を殺傷することは許されません。三菱重工は「死の商人」への道から引き返すべきです。

12式地对艦誘導弾能力向上型の模型
(三菱重工小牧北工場)

〈キリトリ線〉

郵便はがき

63円切手を
貼って
ください

100-8310
東京都千代田区丸の内2-7-3
東京ビル

三菱電機株式会社
社長

漆間 啓様

差出人

三菱重工さん、
「死の商人」に
ならないでください!
私は敵基地攻撃ミサイルの製造と
次期戦闘機共同開発に反対します。

〈キリトリ線〉

メッセージ

三菱電機は 武器輸出と国際共同開発から 撤退を!

ロンドンでの武器見本市「DSEI」で
展示された次期戦闘機の模型

データ偽装などの不祥事多発で悪名高い三菱電機は、武器輸出に最も前のめりな軍需企業でもあります。日本からの完成品の武器輸出における過去唯一の事例は、三菱電機製の防空レーダーのフィリピンへの輸出です。また、2014年の武器輸出三原則の撤廃直後に始まり、2023年に終了した戦闘機用ミサイルの日英共同研究にも参加していました。

この間、空前の大軍拡の流れに乗って受注高を増加させ、軍需部門の1000人規模の増員や、8つの生産棟の増設など約700億円規模の設備投資計画を発表しています。

さらに、昨年10月には、オーストラリア国防省と武器の共同開発事業の契約を締結。双方のレーザー技術を組み合わせ、戦闘機や車両の警戒能力を高めるものとされます。日本企業が外国政府と直接契約を結ぶのは初めてであり、米国主導の中国包囲網づくりとも一体の動きです。同社は次期戦闘機の共同開発にも参加しています。三菱グループの「死の商人国家」づくりへの加担が露わになっています。

不買できる製品の例



三菱電機 / アルカリ乾電池「EX」



三菱重工 / 「ピーパー」エアコン

よびかけ

日本消費者連盟

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

TEL 03-5155-4765 メール office.j@nishoren.org

主婦連合会

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 主婦会館プラザエフ 3F

TEL 03-3265-8121 メール info@shufuren.net

武器取引反対ネットワーク (NAJAT)

TEL 090-6185-4407 (杉原) メール anti.arms.export@gmail.com

武器取引反対アクションシート 2024年3月15日

郵便はがき

63円切手を
貼って
ください

100-8332

東京都千代田区丸の内3-2-3
丸の内二重橋ビル

三菱重工業株式会社
社長

泉澤 清次 様

差出人

私は武器輸出とオーストラリア国防省
との武器共同開発に反対します。

三菱電機さん、
「死の商人」に
ならないでください!

〈キリトリ線〉

メッセージ